


NO!リニア

No. 1 1 8

2020年7月9日

J R 東海労働組合

J R 東海労HP
にアクセス 



リニアは時代錯誤との酷評！ バイパス論は内容が全く無し！

川勝静岡県知事と金子社長とのトップ会談以降、リニアの必要性が無いという指摘が相次いでいます。会談で金子社長は、バイパス論を強引に押し通し、リニアの必要性を主張しましたが、川勝知事が「今後のビジネスモデルがどうなるか。オンラインの方がリニアより速い」と指摘したことの方が正論であり、説得力があります。

7月2日付『静岡新聞』に、「時代錯誤のリニア再考を」と題した石橋克彦神戸大名誉教授の投稿文が掲載されました。要約すると、①今後は大都市集中型から地方分散型になり、オンライン会議などで鉄道の利用客は見込めない。②大量のエネルギー消費は時代に逆行している。③南海トラフ地震におけるバイパスとしてのリニアは、何本もの大活断層を貫き、地球で最も危険な地帯に建設される。④最悪の場合は、廃線になり、国民がJ R 東海の赤字の尻ぬぐいをする、というものです。①は、政府や未来投資会議が今後計画していることと大きく関連しています（『J R 東海労ニュースNo.2498』参照）。

ところで皆さん、なぜバイパスとしてのリニアなのでしょう？会社は、南海トラフ地震対策としていますが、上記の通り活断層を貫くりニアのトンネルは安全なのでしょう？「地震発生時はトンネルを避けた場所に列車を停止させる」ことは規程に定められています。これは、トンネルが危険だからと言っているのです。

道路のバイパスは、渋滞解消のためにつくられます。東海道新幹線は溢れるほど乗客がいるのでしょうか？ましてや、コロナ過の影響で、今後は需要は見込めないのです。当初会社は、東海道新幹線の需要が右肩上がりとしていましたが、この理由がいつの間にか、南海トラフ地震のバイパスにすり替わっていたのをご存じでしょうか？東海道新幹線のバイパスというなら、北陸新幹線もあれば、飛行機もあります。

このような会社の口車にまんまと乗せられてはいけません。直ちに、リニア建設を中止すべきです。